



臨検タイムス香川

一般社団法人 香川県臨床検査技師会 発行者：高橋 宗孝

第65回日本医学検査学会に参加して



香川県臨床検査技師会 副会長 荒井 健 (香川大学医学部附属病院)

9月3日(土) 4日(日)の2日間、神戸で開催された第65回日本医学検査学会に参加してきました。本学会は世界医学検査学会(IFBLS)、日本臨床検査医学学会学術集会、日本臨床検査学教育学会学術大会との4学会同時開催ということで、海外からの参加者も含め大変にぎやかな学会でした(全部で2000名を超える参加者だったそうです)。学会場周辺では外国人も多数見うけられ、さすがに国際学会だなという印象でした。私は国内学会のみの参加で受付を行いました。IFBLSのポスター会場は少し見てきました。国内施設の発表者で知っている名前もちらほら見られ、皆さんの頑張りに感心してきました。国立大学病院は最低2演題以上出すと言われていたのですが、当院は1題も出すことができなかったのが反省しています。海外の発表では台湾の演題が目

についたように思いました(ポスターが派手だったからかもしれません)。

今回聴講した一般演題、講演等の中で印象に残ったものを上げると、まず京都大学名誉教授、井村裕夫先生の特別講演「先制医療とその実現に向けての課題」があります。先制医療という言葉は初めて聞きましたが、従来の予防医療は集団を対象に疾患のリスク因子を抽出し、それらを避けることで疾患にかかるリスクを軽減しようとするものでした。それに対して、先制医療はゲノム、エピゲノムなどの遺伝情報、環境因子、バイオマーカーなどの個人情報をもとに、将来発症する可能性のある疾患を予測して介入することにより発症を遅らせようとするものです。従来の予防医学が集団を対象としていたのに対し、個別化予防、精密予防ということができるものです。現在、わが国では少子高齢化に伴い、医療・介護費の高騰が問題となっていますが、予防医療をさらに進化させた先制医療を進めていくことにより、健康長寿社会の実現を目指すことが重要であるというお話でした。その中で臨床検査技師の役割としては、より鋭敏な検査方法を開発すること、また社会全体に予防医療、先制医療について啓蒙していくという役割があるのではないかとされていました。隣で聞いていた人たちの話では、先生は85歳であるとのこと。全く年齢を感じさせないすばらしい講演で、まさに健康長寿のお手本のような先生でした。

もう一つ印象に残った企画は、シンポジウムの「iPS細胞と輸血医療」です。日本赤十字近畿ブロック血液センターの木村貴文先生の講演「iPS細胞の総論と再生医療製品の品質試験について」では、現在のiPS細胞を用いた再生医療がどのような段階にきているのか、わかりやすく解説していただきました。患者さんに必要な細胞をiPS細胞から作り移植するには、拒絶反応が起きないように細胞を移植する必要があります。患者さん自身からiPS細胞を作ればこの問題はクリアできますが、それには多大な時間と費用がかかります。現在、日本人に頻度の高いHLA型を持つHLAホモドナーからiPS細胞を作製し備蓄する「iPS細胞ストック事業」が始まって3年になるそうです。日本人に最も広く適合するHLA型から作製した細胞は、日本人の17%に移植可能だということです。適合範囲が10番目までの細胞をそろえると対象者は50%にまで広がり、さらに140番目までの型の細胞をそろえると、90%まで広がるそうです。それだけのHLA型の細胞を集めるのも大変ですが、作製した細胞の安全性などの品質管理を行うのに時間と労力、多大な費用がかかるということでした。実用化にはまだ多くの課題がありますが、着実に進歩しているということも感じられ、iPS細胞の今後の研究開発には大きな期待が持てると感じました。

今回の学会では、香川県、中国四国のいろいろな施設の方とお会いすることができました。中には数年ぶりにお会いした人もいて、展示会場でしばらく話し込むなど交流を深めることもできました。全国学会は香川で開催した時以来の参加でしたが、今後もできるだけ参加して様々な知識を深めたいと感じさせてくれる学会であったと思います。

《研修会のご案内》

① 平成28年度 第3回 血液検査研修会

連絡責任者：杉 理恵 ☎087-811-3333

日 時：平成28年10月29日（土）13：00～16：00

場 所：香川大学医学部附属病院 検査部

内 容：骨髓像の見方（2） 丸本 浩二（四国中検）、竹内 彰浩（香川大学医学部附属病院）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

② 平成28年度 日臨技中四国支部 生物化学分析部門研修会

連絡責任者：香西 宣秀 ☎087-876-1145

日 時：平成28年10月30日（日）9：00～15：30

場 所：愛媛大学医学部附属病院 40周年記念講堂

- 内 容：演題① 当院でのsdLDL使用経験について 丸山 恭平（JA広島総合病院）
② HDL2-C、HDL3-Cの測定と頸動脈内中膜複合体厚との関連：Shimane CoHRE Study
野畑 亜希子（島根大学医学部附属病院）
③ 心疾患とトロポニン 片岡 直樹（高知赤十字病院）
④ 高感度トロポニンTの有用性 尾崎 弘明（倉敷中央病院）
⑤ 心疾患マーカーの変動と心エコー検査（虚血性心疾患）檜垣 里江子（喜多医師会病院）
⑥ 心疾患マーカーの変動と心エコー検査（心不全） 西尾 進（徳島大学超音波センター）

講演① BNP迅速測定の有用性と最近の話題 丸尾 直子（東ソー(株)バイオサイエンス事業部）

ランチョンセミナー：レニン-アンジオテンシンの生理的機能と検査値

安藤 喜典（和光純薬工業株式会社）

講演② 心疾患とバイオマーカーについて

高田 康德（愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学）

講演③ 高血圧治療と臨床検査 大蔵 隆文（愛媛大学大学院医学系研究科循環器・呼吸器・腎高血圧内科学）

参加費：3,000円 生涯教育研修：専門20点

申込み：日臨技ホームページより事前登録を行ってください

備 考：意見交換会に参加される方は別紙案内状参照の上、FAXでお申し込みください。

③ 平成28年度 日臨技中四国支部・臨床微生物部門研修会

担 当：（一社）島根県臨床検査技師会

日 時：平成28年11月5日（土）13：00～17：00、11月6日（日）9：00～12：00

場 所：島根県立中央病院 大研修室 〒693-8555 島根県出雲市姫原4-1-1

内 容：テーマ「呼吸器感染症の“診方”」

参加費：5,000円（参加申し込み時に指定口座へ振り込み下さい）

申込み：日臨技ホームページより事前登録を行ってください

締切り：平成28年9月30日（金）

定 員：80名

問合先：岩間 修平（雲南市立病院 検査技術科）

TEL：0854-43-2390 mail：kumo-lab@hotaru.yoitoko.jp

④ 平成28年度 日臨技中四国支部 臨床血液部門研修会

日 時：平成28年11月13日（日）9：50～15：30（受付9：00～、開講式9：50）

場 所：愛媛大学医学部附属病院 40周年記念講堂 愛媛県東温市志津川454 TEL：089-964-5111

内 容：テーマ「血液疾患の分子生物学」

10：00～10：30 一般演題Ⅰ「mono-MAC症候群と診断された家族性骨髓異形成症候群の一例」

朝霧 正（高知大学医学部附属病院）

10：30～11：00 一般演題Ⅱ「ライソゾーム病の一例」

難波 はるみ（倉敷中央病院）

11：00～11：30 一般演題Ⅲ「好酸球増加を伴い少量イマチニブが著効した

*PDGFRB*遺伝子再構成を有する骨髓増殖性腫瘍の1例」

藤村 一成（三豊総合病院）

11：50～12：50 ランチョンセミナー「未定」

13：00～14：00 講演Ⅰ「造血器腫瘍の染色体・遺伝子異常」

江口 真理子（愛媛大学大学院医学系研究科 医学専攻 分子・機能小児科学）

14：15～15：15 講演Ⅱ「がんに対する細胞免疫療法

ーがん抗原特異的受容体発現T細胞療法を中心としてー」

越智 俊元（愛媛大学大学院医学系研究科 医学専攻 分子・機能血液・免疫・感染症内科学）

15：15～15：30 閉講式

定 員：130名 参加費：3,000円 締切り：平成28年10月21日（金）

⑤ 平成28年度 第2回 臨床化学検査研修会

連絡責任者：香西 宣秀 ☎ 087-876-1145

日 時：平成28年11月18日（金）19：00～20：00（予定）

場 所：キナシ大林病院 3階会議室

内 容：自動分析装置の基礎 田川 将人（関東化学株式会社 ライフサイエンス部）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

⑥ 平成28年度 一般検査研修会

連絡責任者：永田 啓代 ☎ 0877-62-1000

日 時：平成28年12月2日（金）19：00～20：30

場 所：キナシ大林病院 3階会議室

内 容：フローサイトメトリー法と技師がみる尿沈渣

岸本 貴志（シスメックス株式会社）、永田 啓代（四国こどもとおとなの医療センター）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

⑦ 平成28年度 遺伝子染色体・微生物検査合同研修会

連絡責任者：南原しずえ ☎ 0877-62-1000

日 時：平成28年12月4日（日）13：30～15：30

場 所：四国こどもとおとなの医療センター 4F こもれびホール

内 容：特別講演1：「検査室でもできた感染症の遺伝子解析－HBVを中心に－」

行正 信康（香川県保健医療大学准教授）

教育講演2：「LAMP法の原理・応用と呼吸器感染症領域における活用」

酒井 栄一（栄研化学株式会社）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

⑧ 平成28年度 第4回 生理検査研修会

連絡責任者：長田 剛 ☎ 087-861-3261

日 時：平成28年12月11日（日）10：00～12：00

場 所：KKR高松病院 人間ドックセンター6階会議室

内 容：ホルター心電図解析の基礎と解析実習 日本光電工業株式会社 ホルター心電図担当者

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

申込み：日臨技ホームページより事前登録を行ってください

ホルター心電図解析でお困りの症例について

第4回生理検査研修会にて『ホルター心電図解析』の研修を企画しております。日頃のホルター心電図解析において、判断に苦慮した症例や希少症例などがございましたら下記までご連絡ください。研修会にて講師の先生に解説をしていただきます。是非この機会に、日頃の疑問を解消していただければと思います。よろしくお願いいたします。

連絡先：長田 剛（KKR高松病院 検査科） TEL：087-861-3261（内線4225） mail：ict@kk-hta-hp.gr.jp

⑨ 平成28年度 第1回 微生物部門研修会

連絡責任者：西村 恵子 ☎ 0877-62-1000

日 時：平成28年12月17日（土）14：30～17：00

場 所：香川県社会福祉総合センター 第2中会議室

内 容：①グラム染色を臨床に活かすために－基礎から応用まで－

西村 恵子（NHO四国こどもとおとなの医療センター）

②ISO15189認定から学ぶ微生物検査

村瀬 光春（元愛媛大学医学部付属病院 診療支援部長）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

＊研修会の参加には、会員証を必ず御持参ください。

注. 検査技師免許取得の方で非会員の場合は、参加費として5,000円を頂きます。（四臨協は、10,000円）
尚、学生は無料。他職種の方は、会員と同額です。

中国地区の研修会については、日臨技ホームページをご参照下さい。

学術部では、チーム医療などに関する分野の資格、および認定取得者（NSTの認定技師など）のリストを作成しています。

これにより、資格取得を目指している技師への情報提供や、資格取得者の方の研修会へのご参加、ご協力をお願いしたいと考えています。また、平成28年度の学会誌への掲載も予定していますが、掲載を望まない場合は記載を致しません。**チーム医療などに関する分野の資格、および認定を取得されている方は、下記の連絡先までよろしくお願ひいたします。**

＜連絡先＞ KKR高松病院 診療部検査科 横内 美和子 mail physio@kk-r-ta-hp.gr.jp

新人研修会、およびビアパーティに参加して



宮崎 優美（四国こどもとおとなの医療センター）

今年の5月から、独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センターに配属になりました 宮崎 優美と申します。よろしくお願いします。

私の出身は熊本県ですが、倉敷の大学を卒業後に鹿児島大学大学院へ進学いたしました。そこで修士課程2年、博士課程4年を修了・博士号を取得し、今年の5月から当院にて生理機能検査を担当しております。大学院では、膵癌幹細胞への薬剤効果の検討、転移に関わるシグナル経路の解析や膵癌と線維化についての基礎研究を行ってまいりました。進学した理由は、世界中の研究者がガンについて研究しているのに、なぜガンは無くならないのだろうか。と疑問に思ったからです。その理由を自分の手で確かめたく、大学院に進学する事にしました。実際に研究を行って、あの手この手で抵抗してくるガン細胞に対して毎日、悪戦苦闘しました。実験は成功する事の方が少なく、成功するまでに試行錯誤を繰り返しながら何ヶ月もかかる事もありました。論文が雑誌に掲載された時は、非常に嬉しかったですし、ガンの抑制に私の行った実験が少しでも役に立てば良いなと思っています。

そんな私が今回参加させて頂いた香川県新入会会員研修会は、香川県の技師会の役割と活動について分かりやすく説明していただきました。

精度管理のお話を聞いて「うわ、大学の時苦手だったやつだ。」と内心思いながら聞いていました。日頃は、生理検査室にいますので検体の精度管理について不明な点がありましたが、研修会を受けて毎日の精度管理の方法や重要性が理解できました。同時に、検査結果の値に影響する大事な事なので、もう少し詳しく精度管理について知りたいと思いました。

医療事故のお話しでは、実際にあった採血時の患者取り違いを例に、なぜその様な事が起こったのか、また対策を教えてくださいました。本人確認や採血管確認が疎かにならないよう注意していかなければならないと感じました。また、医療業務上のミスは医療事故もしくは医療過誤に分けられ裁判で重大な論点となり、その発生は毎日の小さなミスの上に起こるということも教えてくださいました。過失があるとされる医療過誤を起こさない様にするにはどうすれば良いか熟考しなければなりません。

当院では「ヒヤリ・ハット」の報告により、どの様な状況で何が起きたか把握出来る様になっております。私には関係ないと思わず、「明日は我が身」の気持ちで確認する事が、同じようなミスを繰り返さないために重要なことです。また、少しでも不審に思ったら、病棟や担当の方とその都度、連絡を取り合うことが肝心だと感じました。

臨床検査技師として、スキルアップをしたいと思っている私の所にタイミング良く舞い込んでくる研修会のご案内。香川県だけでも様々な研修会が開かれており、またとても興味のある内容で、生理検査のみならず、血液や遺伝子、病理などにも参加させて頂いております。私にとっては専門的過ぎて分からないこともあります。目から鱗状態で聞かせて頂いております。実際に勤務して「あっ！これ研修会で勉強したやつ！！」と嬉しくなります。各研究班の方々におかれましては、研修会の企画・運営等多忙の中、有難うございます。大変参考になりました。

研修会について行われた親睦ビアパーティーは、とにかく飲んで、お話しして、あっという間に終わったという感じでした。「まだ飲み足りない！」と言いながら、帰った事は鮮明に覚えています。また、今回参加した他の新人さん達と連絡先を交換したので、また集まって交流を深めていきたいと思っています。

今回、このような会の企画、運営に尽力頂きました皆様に大変感謝致します。どうぞ、今後ともよろしくお願い致します。

全国「検査と健康展」開催のお知らせ

香臨技では、今年度の全国「検査と健康展」を下記のとおり開催いたします。

会員の皆様には、ご家族、お友達、お知り合いの方をお誘いの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

また、スタッフとしてご協力いただける方は、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

連絡先：小林 万代（海部医院）TEL：087-843-3666 E-mail：kobaboobu0128@hotmail.co.jp

全国『検査と健康展』



2016 in 香川



入場
無料

開催日時

11/13(日)

10:00～15:00

(受付14:30まで)

参加のポイント

- ① 生活習慣病やガンの早期発見のための定期的な健康診断の重要性を考えよう
- ② 臨床検査・臨床検査技師について知ろう

開催場所 サンポートホール高松 1階市民ギャラリー

チェックする

無料健康チェック（約100名様）

- ◆血液検査(血糖値・ヘモグロビンA1c)
- ◆ヘモグロビン値(推定値)
- ◆血圧
- ◆血管機能検査(血管年齢)
- ◆肺機能検査(肺年齢)
- ◆頸動脈超音波(エコー)検査
- ◆骨量測定(骨年齢)

聞く

臨床検査専門医による結果説明・健康相談
臨床検査技師による検査説明

体験する

臨床検査・臨床検査技師紹介

- ◆検査技師になってみよう！超音波検査・採血模擬体験
- ◆覗いてみよう！顕微鏡の世界

主催▶一般社団法人日本臨床衛生検査技師会・一般社団法人香川県臨床検査技師会
共催▶日本臨床検査専門医会

平成28年度 香川県外部精度管理調査のご案内

香川県からの委託を受け、香川県医師会の協力のもとに行っている外部精度管理調査を下記の日程で実施いたします。

試料配布日：平成28年11月9日（水）午前中

対 象 項 目：(1) 臨床化学検査 (2) 血液一般検査 (3) 輸血検査 (4) 免疫血清検査
(5) 一般検査 (6) 生理検査 (7) 微生物検査 (8) 病理細胞検査

問 合 せ 先：医療法人財団博仁会キナシ大林病院 検査科 宮川 朱美

TEL：087-881-3663（検査科直通） E-mail：kensa@obayashihp.or.jp

注 資料配布の曜日は水曜日になっています。



平成28年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会(第49回)

テーマ：土佐からの新風 ～ 砕考、再構、最高 ～

会 期：平成28年11月26日（土）、27日（日）

会 場：高知市文化プラザかるぽーと 他

学会長：小倉 克巳（一般社団法人 高知県臨床検査技師会会長、高知大学医学部附属病院 検査部）

平成28年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会（第49回）の抄録は、web抄録となっており、学会ホームページにて公開されています。プログラム集の小冊子は、学会受付時に配布（無料）致します。

参加される方は是非、事前登録にご協力をお願い致します。

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進のお願い

本講習会の開始から一年半が過ぎ、受講率は全国平均で41.6%となっています。しかし、今年度に入り受講者が予定数に満たない講習会が発生しており、都道府県による受講率格差も認められます。

この事業は、5年間の継続事業として展開していますが、開催回数や開催場所については継時的に縮小していく予定です。つきましては、国家資格の一部追加として開催されている講習会であることを今一度、皆様に周知、ご理解していただき、早期の受講を促進いただけますようお願いいたします。

・ 編 集 後 記 ・

本学の4年生は4月になると各指導教員のもとで卒業研究を行います。与えられたテーマについて実際に手を動かして結果を得ます。もちろん初めてのことで少し期間も短いので難しいところもありますが、得られた結果から考察して抄録をまとめ、最後は3年生も出席する報告会でスライド発表をします（つまり学会発表のための基礎を学びます）。

臨床検査技師として働きながら学会等での発表を行うことは容易ではありません。当然日々の業務が優先ですし、一人ではできませんし、周りの方々の理解も必要です。それでも少しでも日本の医療が良くなるよう、新しい検査法、測定法や技術の開発に貢献したいという思いを胸に秘めた学生を送り出せたらと思います。

山口 航（香川県立保健医療大学）



臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

Eメール：kobaboobu0128@hotmail.co.jp

香臨技ホームページ：

ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001

臨検タイムス香川 通巻 255 号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 小河 佳織

【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

平成28年10月印刷・発行